



スクールリポート

▶学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「ふるさとで学ぶ」 米作りを通して

若戸小学校



● 恐る恐る田んぼに入る児童ら



● 慣れてきて手際よく植える児童ら

若戸小学校の5年生は、ゆりのき学習(総合的な学習)の時間を通して、「米」について学んでいます。

5月にはスクールサポーターの指導の下、初めての田植えを経験しました。田んぼの端に一直線に並び、等間隔に印のついたひもに沿って、3～4本ずつ苗を植え付けていきます。最初は、泥の感触に「うわあ、ぬるぬるしてる!」「ええっ、足入れれん、無理!」と悲鳴を上げていた子どもたちも、慣れてくるにつれ、手際よく植えることができるようになってきました。田植えを終えた後は、苗がきれいに植えられた田んぼを見て、満足げにほほえむ様子が見られました。

今後は、稲刈りの際に稲の束を縛る「すがい」をなう作業(昨年度の藁を使用)、稲刈り、脱穀、粃すり、しめ縄づくり、もちつきと、子どもたちはたくさんの作業をしていきます。

こうした貴重な体験をすることができる「ふるさと若戸」の環境に感謝しながら、子どもたちは「米」について、学びを深めていきます。



「統合して心を一つに」 すまいる福江! 出発式

福江中学校

本年度、待ちに待った福江中学校と伊良湖岬中学校の統合が行われ、新生福江中学校の出発式が4月26日(金)に生徒の手で行われました。まずは、全校生徒が一つになって、参加していただいた保護者の方々を囲み、体育館中に響き渡る声で校歌斉唱を行いました。肩を組んで歌う生徒の姿から新生福江中学校の明るさとパワーを感じました。

「元輝快晴」「のびた」「炭酸」など工夫を凝らしたクラスの級訓を、ダンスやショートコントなどで発表しました。生徒のパフォーマンスを見ている保護者の方からの熱い視線、そして手拍子で大いに盛り上がりました。生徒たちは、期間が短い中、パフォーマンスを決め、練習し、仕上げることができました。生徒の笑顔やたくましさ、パワー、そしてクラスの一体感で、出発式に参加した保護者の方々は感動していました。

新生福江中学校は、「すまいる福江」をスローガンに、地域の方々と共に私たちのふるさとをさらに盛り上げていきます。



● 級訓を発表する生徒たち



● 全校生徒で校歌斉唱